

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年11月13日 VOL. 78

地域包括ケアシステムを深化する「藤の花かんかんネット」

看護白書に本市の取組みが掲載

日本看護協会出版会出版の「平成30年度看護白書」のテーマは「**地域包括ケア時代の看護管理者の役割**」。

看護管理者（病院の看護部長など）には自施設だけでなく、地域全体を視野に入れた看護マネジメント力が求められるとされています。本市では2017年度に**藤枝市立総合病院**が中心となり「**藤の花かんかんネット**」を立ち上げました。

今回は、同病院副院長兼看護部長の**平野一美氏**が、立上げの経緯から運営の実際、特に高い評価を受けている「**地域リンクナース**」事業について寄稿し、12ページにわたり掲載されました。



藤の花かんかんネットとは

病院から地域への切れ目のない看護の提供を目指し、**藤枝市内の看護職の連携を強化**することを目的に組織化された取組みです。市内5病院の看護代表者、訪問看護ステーション6事業所、地域包括支援センター（あんすこ）7圏域の各看護職および地域包括ケア推進課職員で構成されています。（事務局：藤枝市立総合病院）



藤の花かんかんネット
オリジナル
「藤むすめ」が
キャラクターと
ロゴマーク
(作：HARUKA)

地域リンクナースとは

看護職を「藤枝市の人財」ととらえ、看護連携を推進するとともに、その専門性を活かして**地域の看護・介護の質の向上を図るための研修を受けた「つながり、つなぐ看護師」**のこと。平成29年度9人、平成30年度11人の計20人の地域リンクナースが市立病院とともに活動しています。

「口腔ケアの向上」を目指して多職種で学んでいます

高齢者の「**食べる**」ことを支援する**口腔ケア**について、11月7日に安心すこやかセンター**愛華の郷**で、ケアマネジャーや介護事業所の職員などが学びを深めました。

今回の講座では、**栗本理学療法士（聖稜リハビリテーション病院）、神谷歯科衛生士（地域包括ケア推進課）、中野管理栄養士（健康推進課）**の講師から、摂食嚥下の基礎知識、食事を摂るために必要な機能（認知・口腔・姿勢等）や口腔機能の観察ポイントなど実例を交えて学ぶことができました。

参加者からは、「**口腔以外の観察ポイント**がわかりやすかった。口腔ケアの**アプローチのきっかけがわかった**」「**アセスメントができるようにしたい**」「**デイサービスと連携**をして口腔ケアに取り組みたい」との感想が聞かれました。

愛華の郷と第2開寿園、社会福祉協議会の駅南圏域の包括支援センターは合同で、口腔ケアの向上を含めた4つの課題について多職種グループで学ぶとことで、地域の専門職のネットワークを深め、よりよい支援につなげています。

今回の講師
管理栄養士、理学療法士、歯科衛生士



聴講のみなさん

